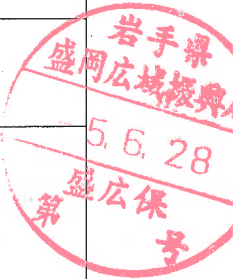


様式第1号 (第3条の2関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和6年 6月 日
岩手県知事 達増 拓也 様		
提出者 住 所 岩手県岩手郡雫石町大字繫第5地割字塩ヶ森175番7 氏 名 岩井建設株式会社 代表取締役 岩 井 淳 電話番号 019-692-1181		
循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	岩井建設株式会社 中間処理場	
事業場の所在地	岩手県岩手郡雫石町御明神籬野405番、406番1	
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	総合工事業 廃棄物処理業(処分業, 収集運搬業)	
②事業の規模	総合工事業 1,413,322千円 内 廃棄物処理業 51,152千円	
③従業員数	51名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	総合工事業 アスファルト及びコンクリート → 自己中間処理(破碎) → 再生材(売却) 別紙のとおり: ガラス陶磁器、石膏ボード、がれき類、管理型混合廃棄物、金属くず、繊維くず、廃プラスチック類、木くず → 委託処理	

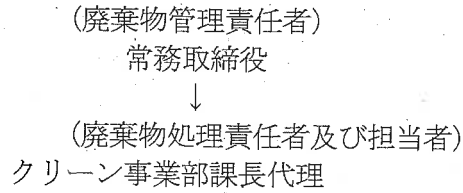


(日本工業規格 A4)

*この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500 t 以上1,000 t 未満の事業所が対象です。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	排 出 量	483t	366 t
	（これまでに実施した取組） ・主に、公共工事から受注したアスファルト舗装工事 コンクリート撤去工事等からの廃棄物です。 よって、受注状況によって変動しますが中間処理し、再生材として売却しています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	排 出 量	435 t	329 t
	（今後実施する予定の取組） ・公共工事等の請負状況にもよりますが、すべて中間処理して再生材として利用します。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・アスファルト廃材、コンクリート廃材に分別して適性に中間処理を行っています。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状通りです。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	483 t	366 t
	(これまでに実施した取組) ・すべて再生利用を行っています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	435 t	329t
	(今後実施する予定の取組) ・量は、公共工事の請負状況によります。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	483 t	366 t
	(これまでに実施した取組) ・自己中間処理を、行っています。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	435 t	329 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	全 処 理 委 託 量	345 t	440 t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0 t	234 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	345 t	440 t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルト廃材	コンクリート廃材
	全処理委託量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も、自己再生利用を行っていきます。		
※事務処理欄			

(様式第二号の三) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別添

(令和4年度)

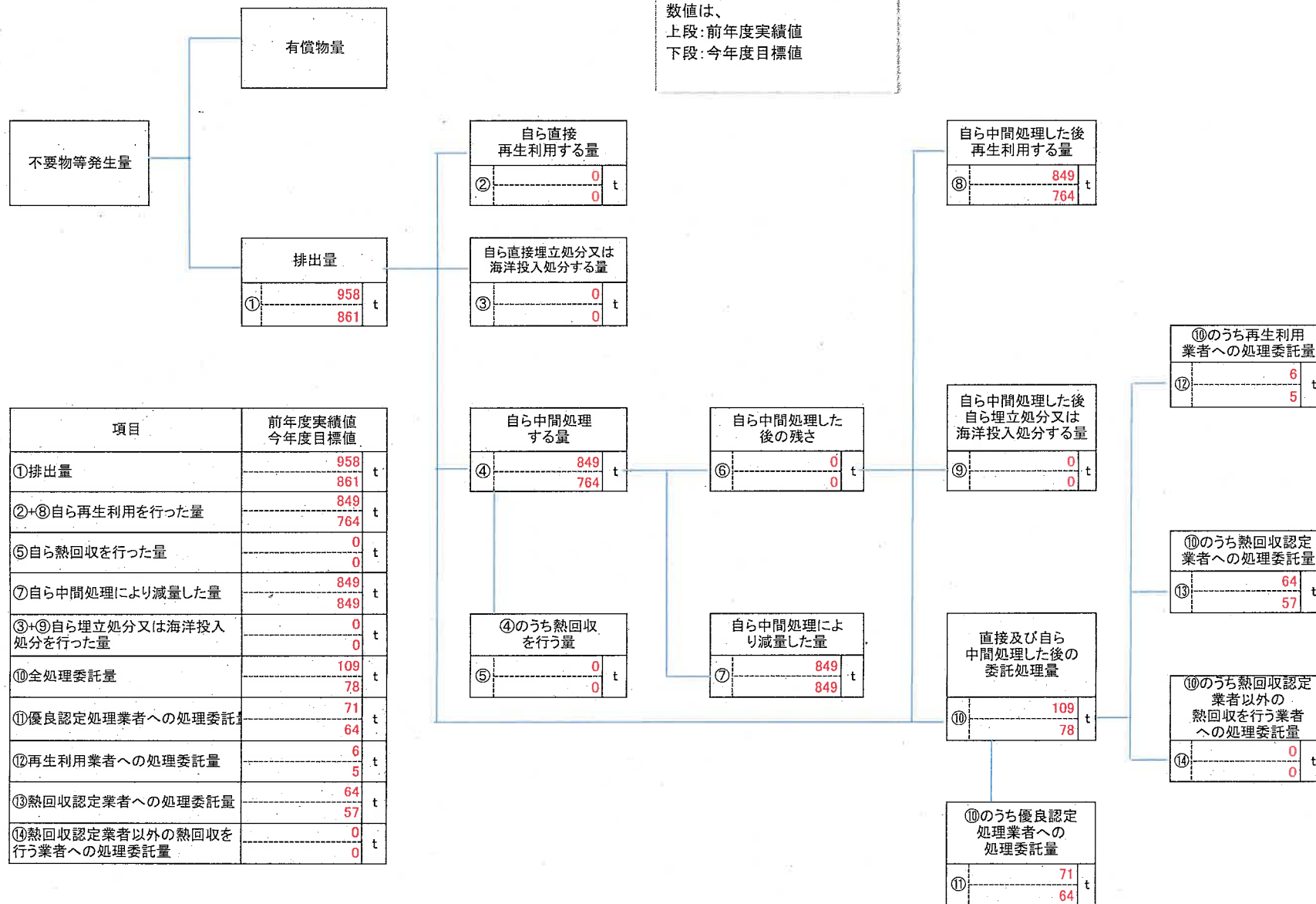
単位:トン/年

廃棄物の種類	産業廃棄物 発生量の目標 (令和5年度)	計画の実施状況													
		①排出量	②自ら直接 再生利用 した量	③自ら直接 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	④自ら 中間処理 した量	⑤ ④のうち 熱回収を 行った量	⑥自ら 中間処理 した後の残さ	⑦自ら 中間処理により 減量した量	⑧自ら 中間処理後 再生処理 した量	⑨自ら 中間処理後 自ら埋立処分 又は海洋投入 処分した量	⑩直接及び 自ら中間処理 した後の 委託処理量	⑪⑩のうち 優良認定処理 業者への 処理委託量	⑫ ⑩のうち 再生利用業者 への 処理委託量	⑬ ⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑭⑩のうち 熱回収認定業者 以外の熱回収 を行う業者への 処理委託量
アスファルト廃材	435	483	0	0	483	0	0	483	483	0	0	0	0	0	0
コンクリート廃材	329	366	0	0	366	0	0	366	366	0	0	0	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	13	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0
がれき類	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0
管理型混合廃棄物	53	59	0	0	0	0	0	0	0	0	59	59	0	59	0
金属くず	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
水銀使用製品	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
ガラス・陶磁器くず (石膏ボード)	10	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0
繊維くず	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	0
廃プラスチック類	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
木くず	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0
計	861	958	0	0	849	0	0	849	849	0	109	71	6	64	0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 全体)

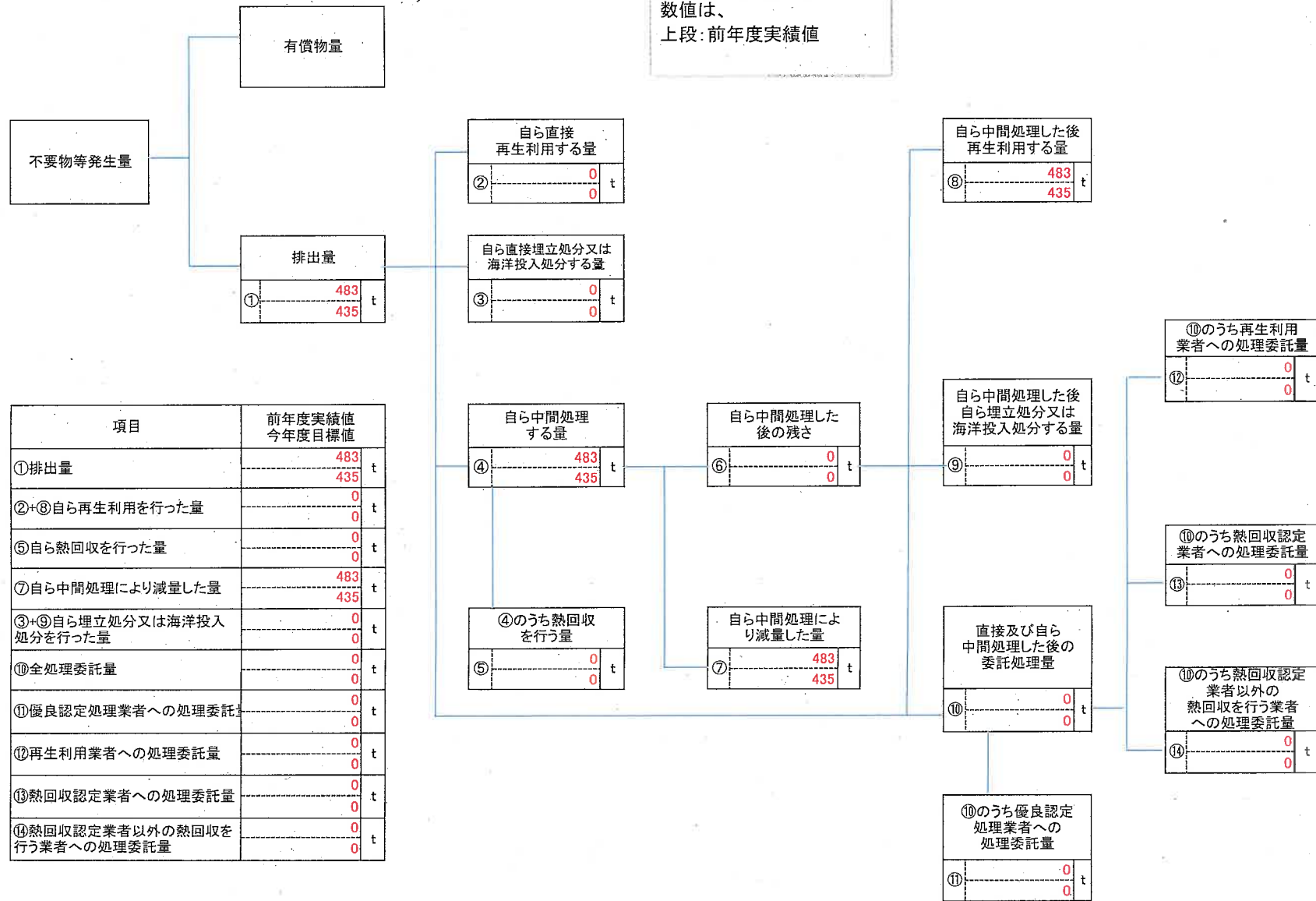
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類:アスファルト廃材)

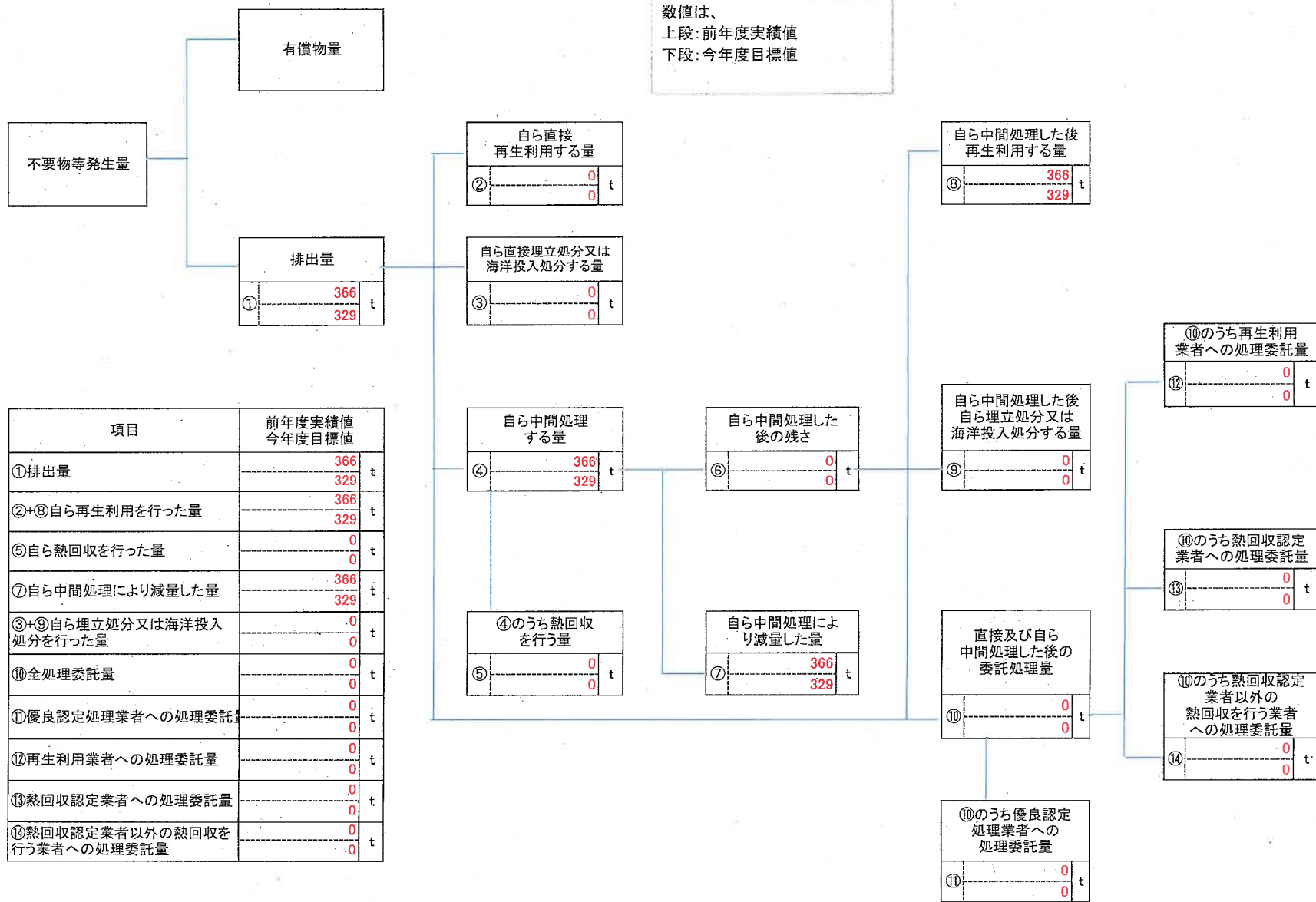
数値は、
上段:前年度実績値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリート廃材)

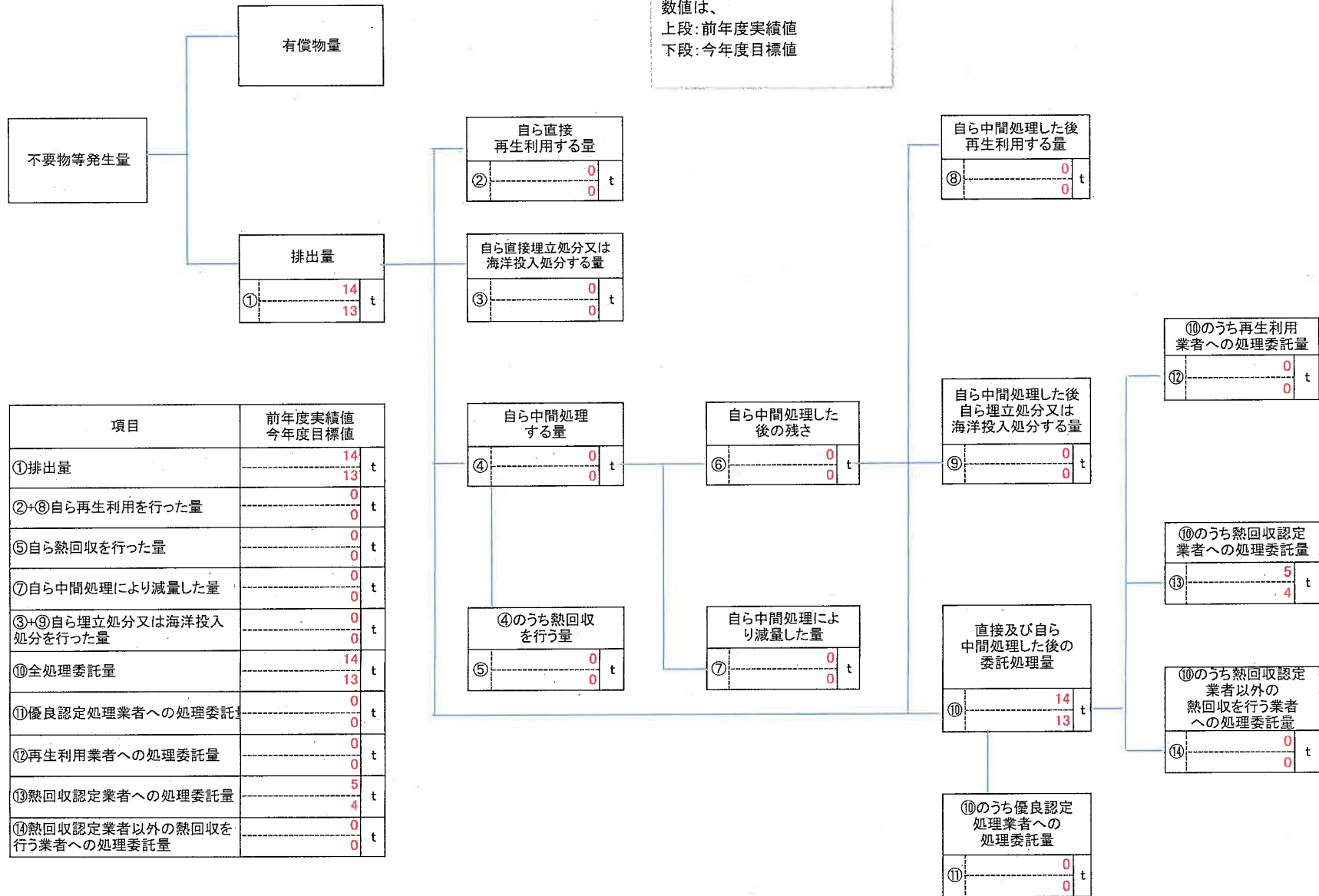
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器くず)

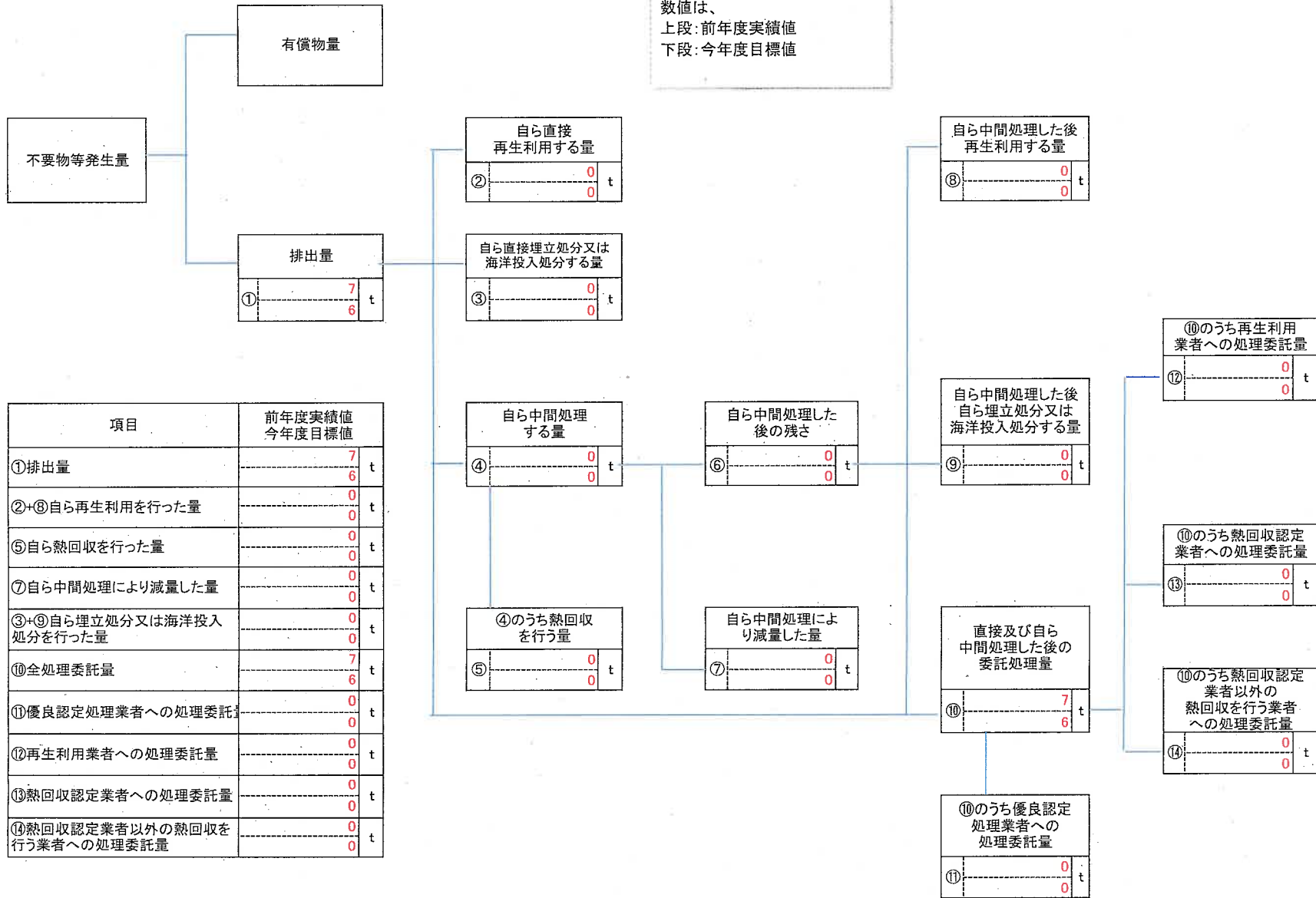
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: がれき類)

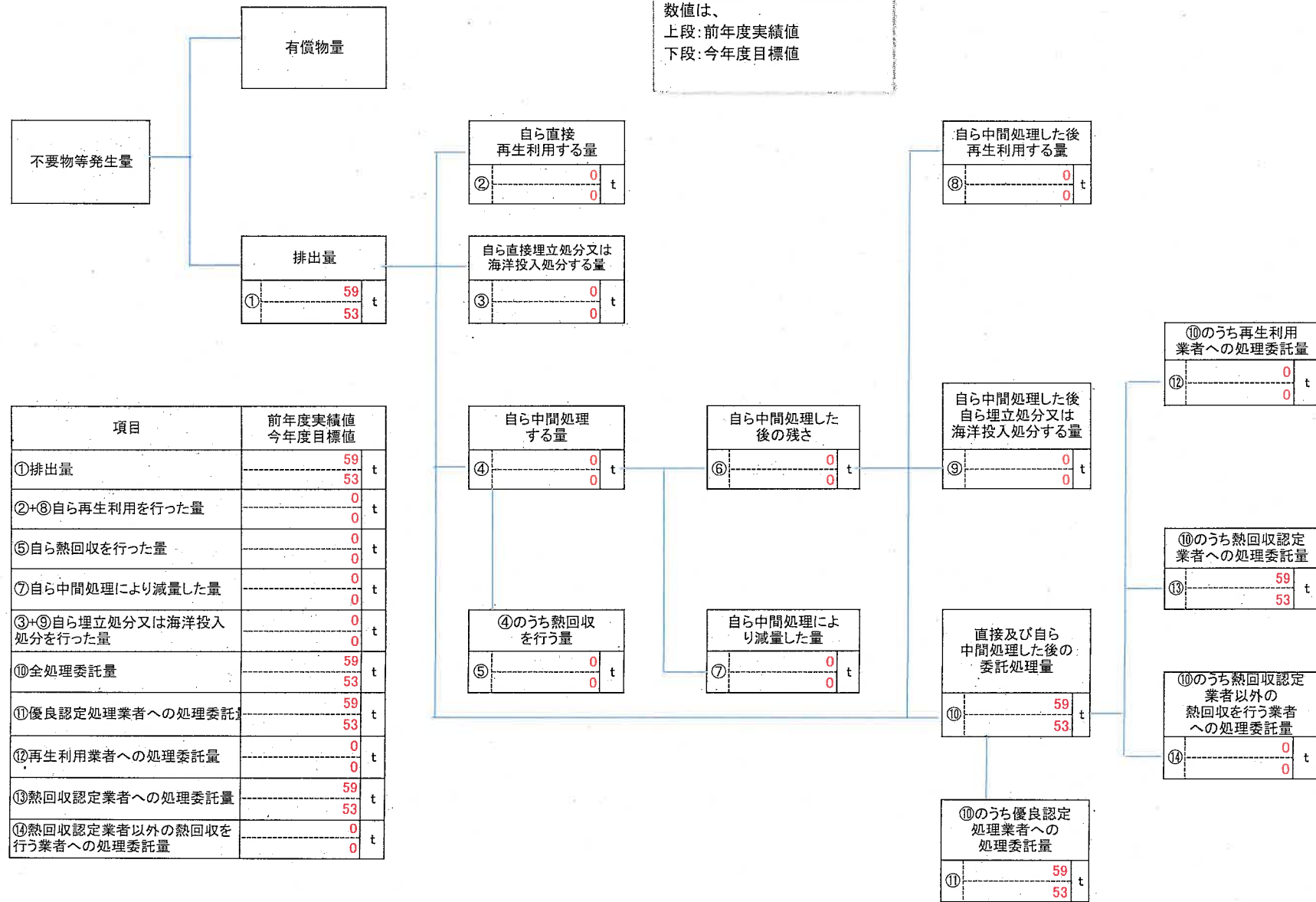
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 管理型混合廃棄物)

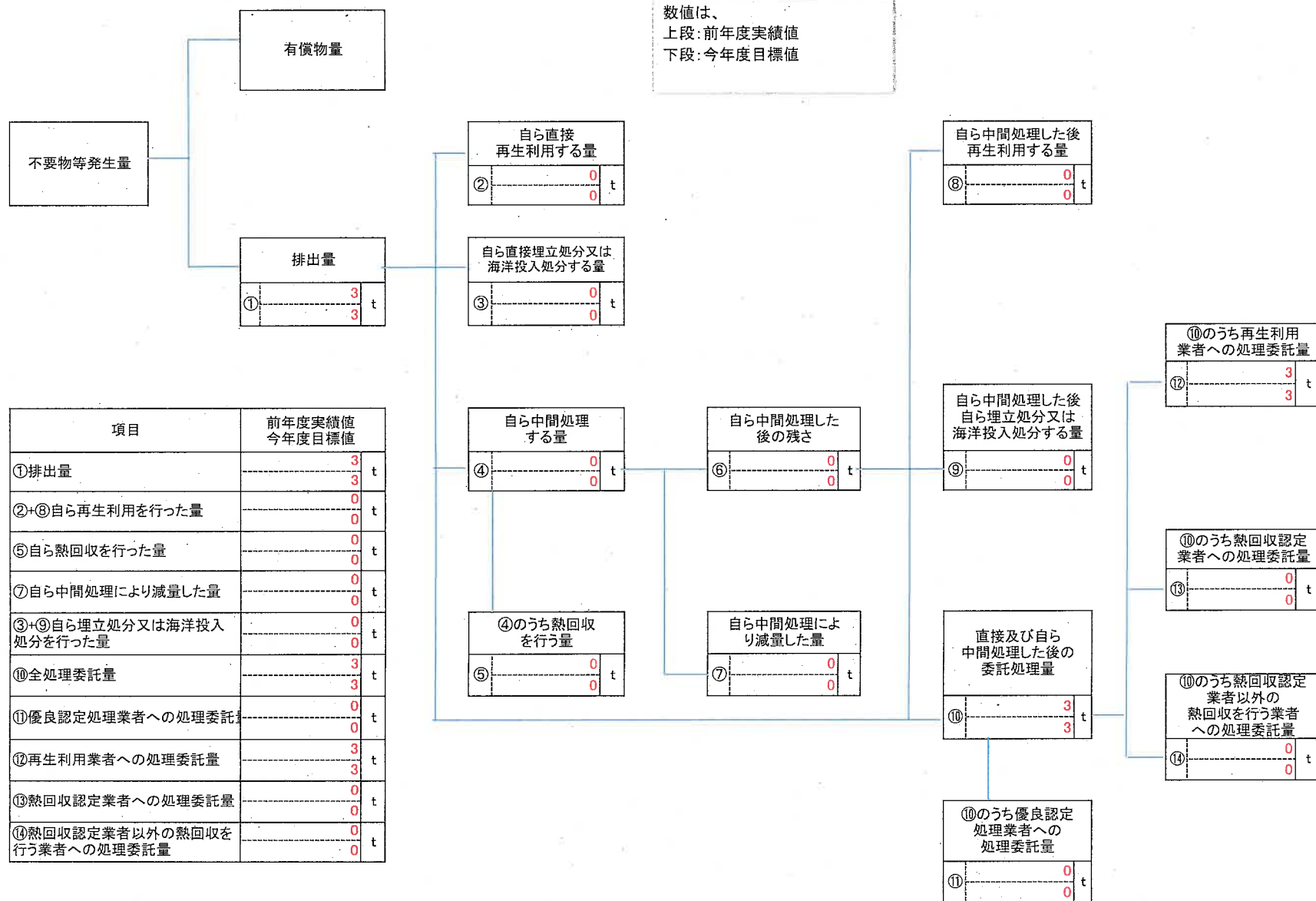
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

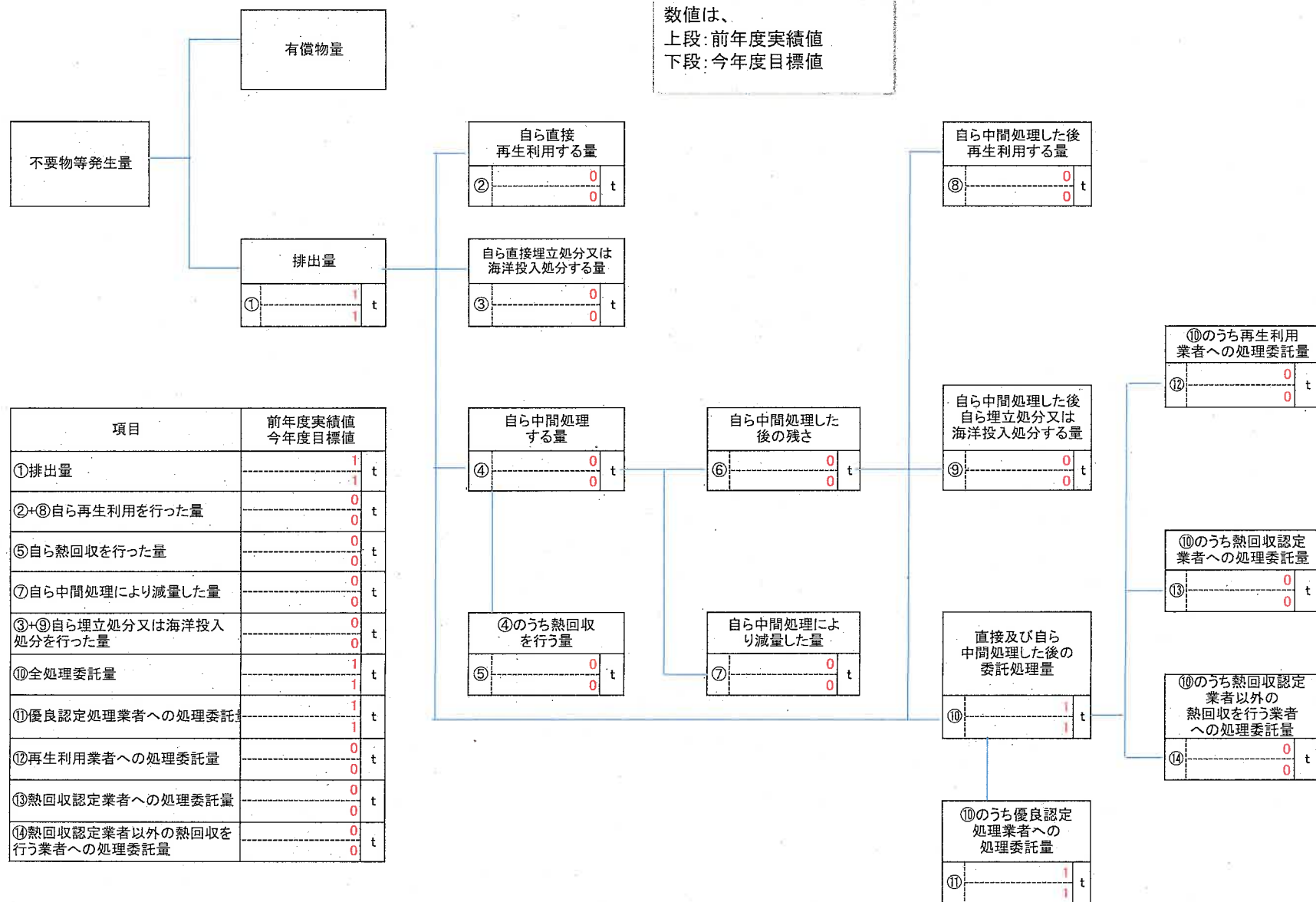
(産業廃棄物の種類: 金属くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 水銀使用製品)

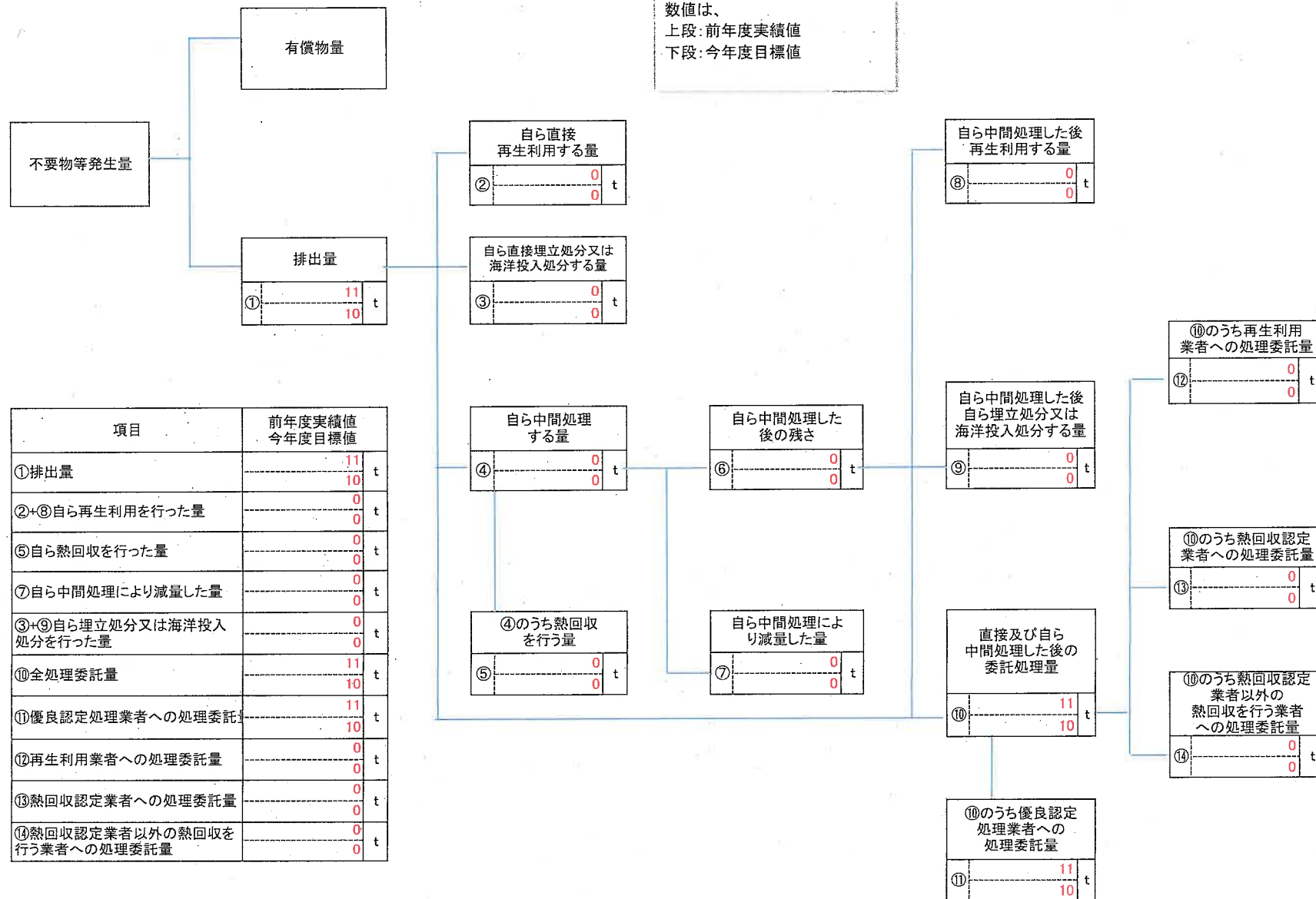
数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)

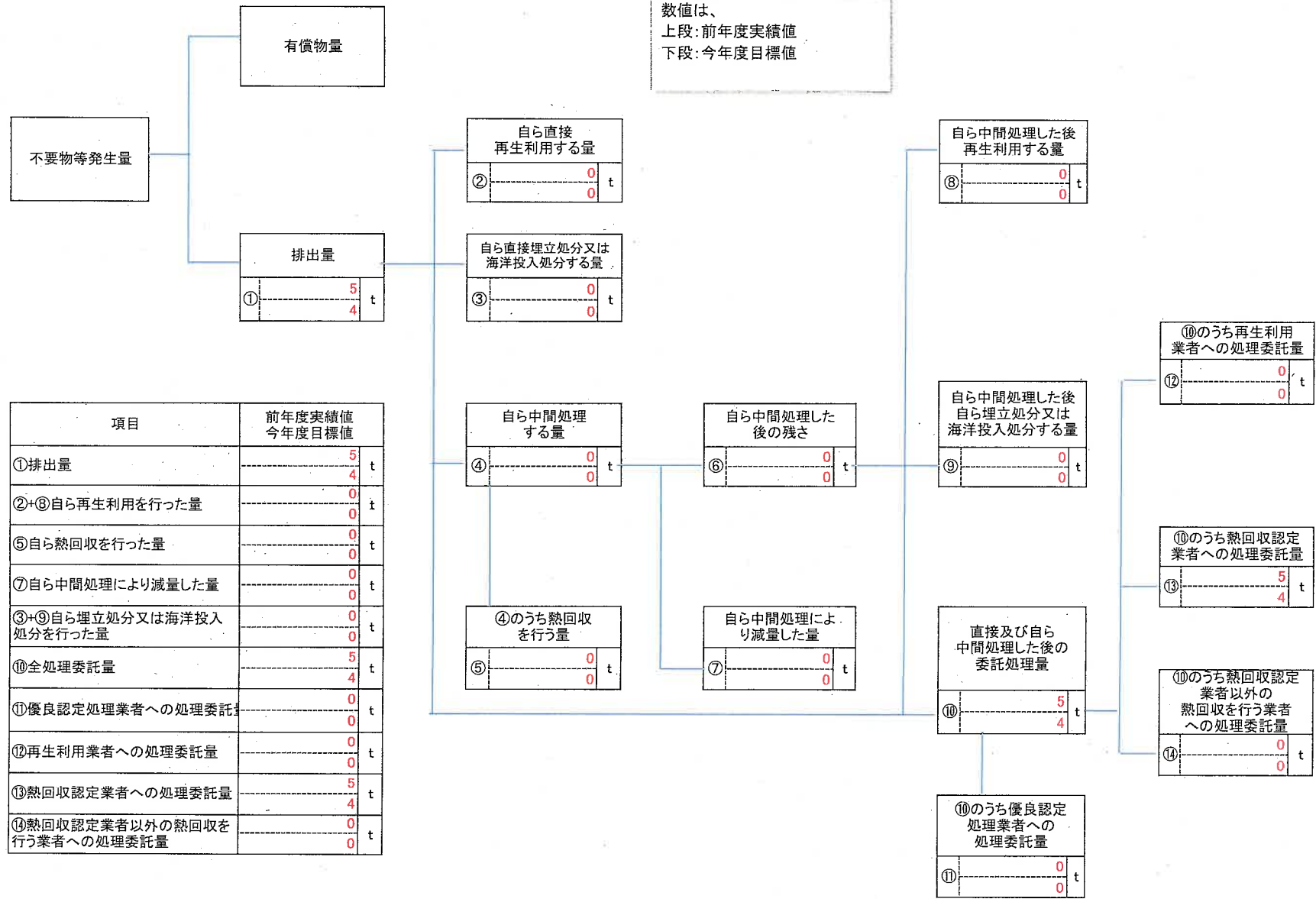
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

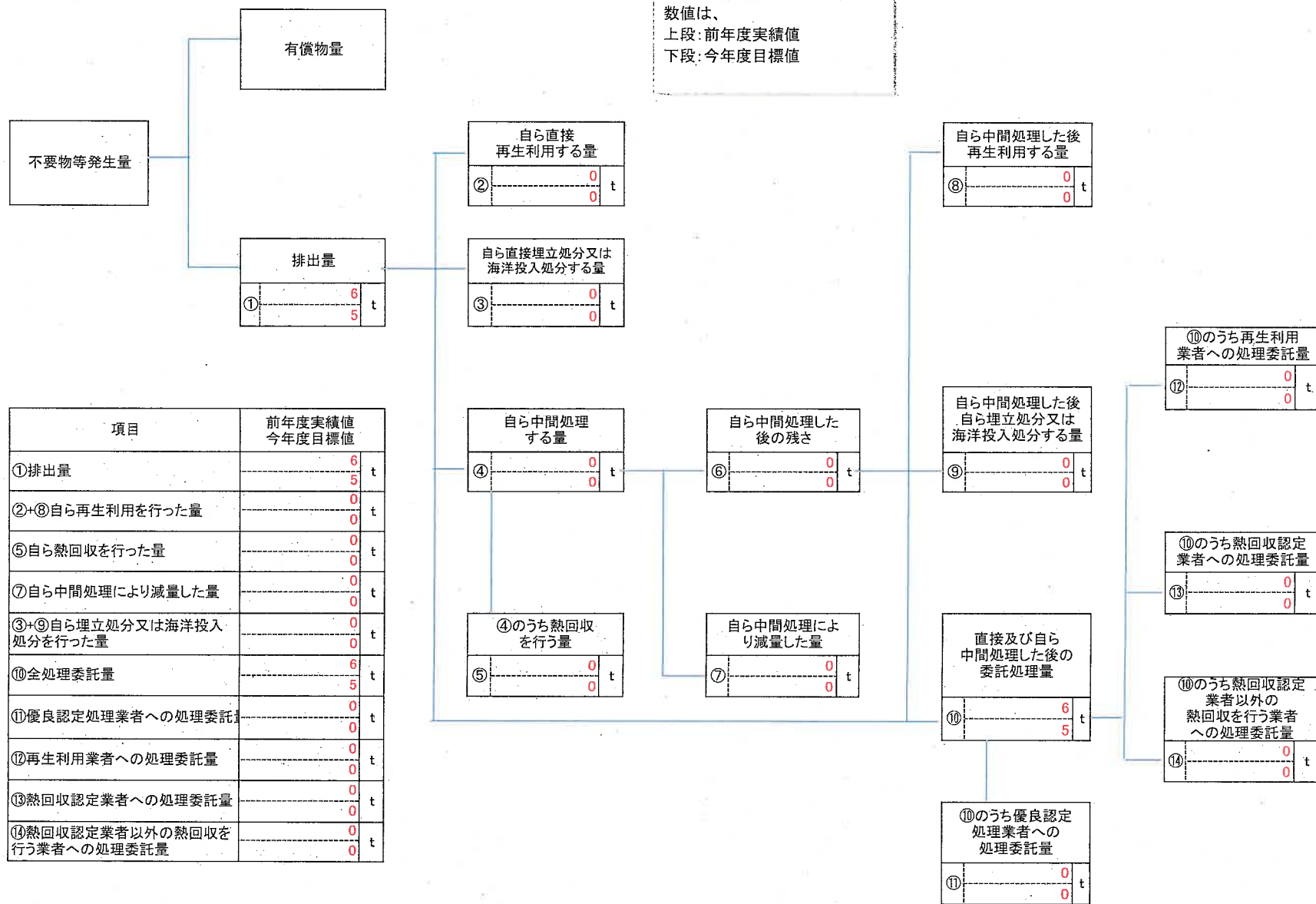
数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

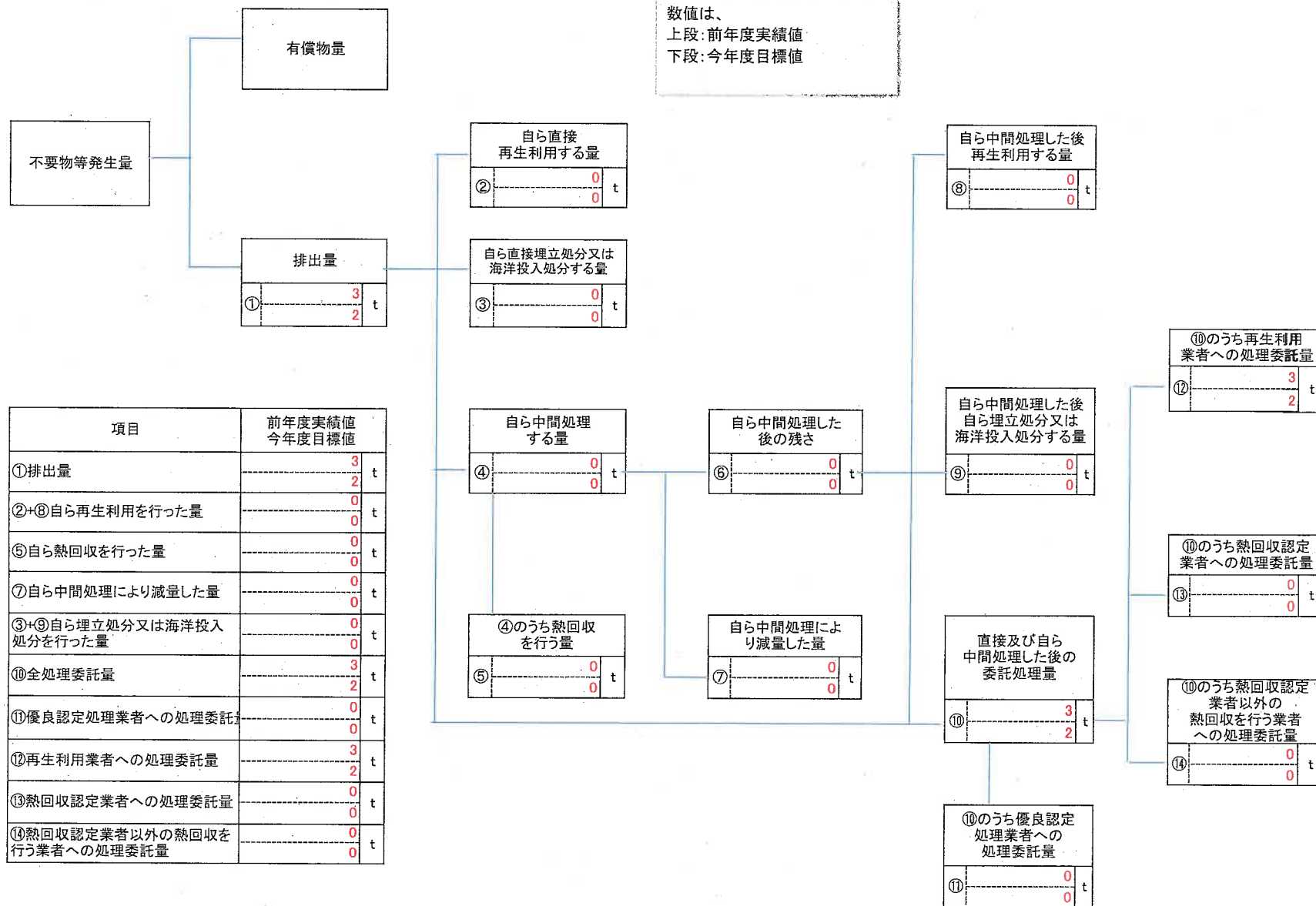
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類:木くず)

数値は、
上段：前年度実績値
下段：今年度目標値



備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。